

## 児童発達支援ガイドラインによる自己評価について

2025年 1月  
るんるんキッズハート

児童発達支援の質の向上と支援内容の適正化を図る為、  
児童発達支援に基づき実施した自己評価の結果を公表致します。

回収率：職員100%（15名/15名）

### 《調査からの読み取り・改善点》

	調査からの読み取り	改善目標・工夫している点
環境・体制整備	職員配置にもう少し余裕があれば、より充実した支援に繋がると感じることもあるが、適切な職員配置がされている。 トイレ前に段差があるが、躓く可能性のある児童には声掛けや援助をして常に気を付けている。	子どもの人数や介助の必要性を見極めて職員配置を行う。 過ごしやすい環境を整える配慮・支援を継続する。
業務改善	業務改善を進めるために月に1度のスタッフ会議を実施し、スタッフ全体で目標設定や振り返りを行っている。必要に応じて療育開始前のミーティングも実施しているが共有漏れもある。 年に1度保護者評価を行い、保護者の意向を把握し、業務改善につなげている。 また、評価結果をまとめてHPに公開している。	月1度のスタッフ会議の継続、毎日のスタッフミーティングの実施をする。共有すべき情報の周知徹底に努める。
適切な支援の提供	保護者面談・スタッフ会議を実施した上で計画書の作成・更新をし、計画に基づいた支援を行っている。 プログラムが固定化しないよう、立案者を月毎・日毎に変えている。	児童との関わりの中で気づいた些細な変化・成長を職員間で共有し、適切な支援の提供をしていく。
関係機関や保護者との連携	他機関と電話や文書にて定期的なモニタリングを実施。連携した支援を行えるように事業所での様子の共有している。 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、共通理解を図っている。 年2回の親子行事の開催で、保護者同士の交流の機会を設けた。 保育所や幼稚園、障害のない児童と活動する機会を設けていない。	引き続き相談員や他機関との情報共有・連携を図る。連絡帳や送迎引き渡し時に保護者様との情報共有を行う。今後も親子行事により、保護者間、保護者職員間のコミュニケーションの促進を図る。障害のない子どもと活動する機会を設ける予定はない。
保護者への説明責任等	連絡帳やLINE、送迎時のやり取りにて、相談や申し入れについて迅速な対応を心がけている。 毎月るんるん新聞・HP動画の作成と配布、HPへの掲載をし、活動概要や行事予定を発信している。	毎利用時の連絡帳の活用や、送迎引き渡し時の保護者様との会話、電話やLINEでの連絡を引き続き実施していく。新聞や動画の作成・発信も継続して行う。
非常時等の対応	虐待・緊急時・感染症等のマニュアルの策定、定期的な研修・チェックリストの実施を行っている。 ヤリハット・アクシデント報告書の作成・共有をし、改善・再発防止に努めている。	事業所にて災害時に備え、年2回の避難訓練の実施を継続する。